

クラス番号	336	担当教員名	横山 由香里
テーマ	当事者の理解と保健医療福祉の支援		
著書・論文 研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・『健康被害を生きる—薬害 HIV サバイバーとその家族の 20 年』,勁草書房. 2010. ・『「カルテがない」 C 型肝炎感染者の医療と生活の実態』, 社会医学研究. 第 30 卷 2 号 ・ Mental health and related factors after the Great East Japan earthquake and tsunami. PLoS One, 2014. (東日本大震災で被災した住民のメンタルヘルスの実態と関連要因) 		

ゼミナール概要

キーワード： 当事者理解、地域保健、保健医療福祉、被災者支援

目的、内容、方法等：

【目的】

病を抱えながら生きる人々やそのご家族、ご遺族、高齢者や障がい者、災害等の被害者が生活する上で抱える困難や葛藤を理解し、その解決策を考える力を培うことを目指します。

【内容、方法】

- ①対象を理解する力を育む：支援に先立ち、対象者を理解する努力が必要です。文献や現場の様子、当事者の方の声から問題を分析し、整理します。
- ②多職種連携：病とともに生きる人々が生活するうえでどのような専門職がどのように連携しているのか、医療福祉コースの合同企画の中で学んでいきます。
- ③自分なりのテーマを決めて、卒業論文を執筆します。できる限り、みなさん一人一人が「詳しく知りたい」「もっと深く考えてみたい」という問題を取り上げ、卒論と一緒に完成させたいと考えています。

授業計画：

- ・3年生前期は文献を中心に学習します。文献や資料を読み、要約して発表します。
また、医療福祉コース全体の企画（模擬カンファレンス等）にも参加し、多職種連携について学びます。
- ・3年生後期は、前期で学習した基礎知識を基に、各自で学習テーマを設定し計画を立てます。
自分なりに関心のあるテーマに沿って、アンケートやインタビューを行います。
- ・4年生では卒業論文の執筆と社会福祉士国家試験に向けた準備を行います。
できるだけ前期の間に卒業論文を仕上げ、後期は国家試験対策に力を入れます。

担当教員からのメッセージ

福祉の世界は、人々の生きる営みに触れる領域であり、自分の生き方も変わってくるように思います。皆さんと一緒に学びを深めていけたら幸いです。

ゼミの運営はゼミ生を中心に進めていく予定です。スケジュールや方法、合宿等は、話し合って決めていきます。医療福祉専門職や当事者の方にゲストスピーカーをお願いする、どこかに見学にお邪魔する、といったゼミ生の企画も歓迎です。